

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ロバの子ハウス		
○保護者評価実施期間	令和7年8月1日		令和7年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年8月1日		令和7年8月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年8月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度に関して、安心感をもって通所していただいている。 夏休みなどの期間中は商業施設や川遊びに出かける日を設けている。 子どもたちは楽しみにして通所して頂いている。	安全面に関して、毎月ミーティングにてヒヤリハットの報告及び改善を行っている。 毎月のイベントの企画を考え、工作やイベントを行うようにしている。	イベントに関してはマンネリ化しないよう様々な企画を立てていくよう心掛けている。 また、どの学年の子どもも楽しめる様なイベントにしている。
2	放課後等デイサービスの提供すべき支援に関して、適切に設定し提供している。	支援に必要な項目は適切に設定できている。 現状、具体性に関して問題は見受けられないが、適切であるか内容に問題がないか定期的に見直している。	他の事業所でも支援計画は立てているので参考にし、より良い支援が出来るよう改善点が見受けられる場合は見直しを行うようにしている。
3	環境を常に整え、体制整備に関して最低限の職員配置数以上に置くようにしている。	子供たちの活動スペースを出来る限り広く確保できるよう、整理整頓は勿論のこと子供たちに目配りができる場所に事務スペースを確保している。	子供の通所人数が増えた場合に備え、スタッフの増員が出来るよう各方面に声掛けを行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	満足度に関して、安心感をもって通所していただいている。 夏休みなどの期間中は商業施設や川遊びに出かける日を設けている。 子どもたちは楽しみにして通所して頂いている。	安全面に関して、毎月ミーティングにて他事業所での事例を用いてヒヤリハットの報告及び改善を行っている。 毎月のイベントの企画を考え、工作やイベントを行うようにしている。	ミーティングでは毎回議題を考え、より良いサービス提供ができるよう心掛けている。 イベントに関してはマンネリ化しないよう様々な企画を立てていくよう心掛けている。 また、どの学年の子どもも楽しめる様なイベントにしている。
2	定期的にホームページの更新が出来ていないので改善する必要がある。	日々の活動の様子に関してプライバシーの問題がある。 ホームページに日々の活動を掲載する項目がない。	基本情報の項目しかないで、日々の活動を掲載していきけるようにはしなければならない。 プライバシーの問題をクリア出来るよう写真の加工や掲載許可を取っていく必要がある。現状はスタッフと保護者間でのオフィシャルアカウントを設けている。
3	今年度も事業所で家族等も参加できる研修会の機会等が行われていない。	ご家族様の負担にならないようにする為の日程の調整が難しい。	研修会が開催できるよう、当デイサービスと保護者様で日時の調整を行い、全ての保護者様が参加できるようにと考えている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ロバの子ハウス

公表日 令和7年8月31日

利用児童数 令和7年8月31日現在 9名

回収数

6名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	0	0	記載なし	今後の増員次第では、より広いスペースが確保できる施設への移転を検討する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	3	記載なし	10名未満の事業所でスタッフの最低人数以上は配置しているが、出来る限り増員はしていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	0	1	2	記載なし	難聴の子供に対し手話ができるスタッフが在籍していないので筆談となっているのでスタッフの確保が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0	記載なし	衛生面に関しましては常日頃、清掃や消毒を心がけ清潔にしている。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1	0	0	記載なし	日々、特性に応じた支援が行えるように取り組んでいるが、研修等に積極的に参加し知識を高める。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	1	0	2	記載なし	公表している通りの支援を行っているが、より良い提供が行えるように見直していく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0	記載なし	個別支援計画に関しては、最新のフォーマットを使用し作成している。日々更新していく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1	0	0	記載なし	支障に必要な項目は適切に設定できている。祝日の開所に関しては提供すべき支援には含まれないが、スタッフの増員ができれば善処いたします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0	記載なし	計画に沿った支援は行えているが、改善が必要な場合は見直す。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	2	0	0	記載なし	新たなプログラムを企画し様々な事にチャレンジしていけるようにしていきたいと考えている。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	1	1	記載なし	現状、週末に関しては他の地域の子供達の交流はあるが、平日でも交流が広がるようにしていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0	記載なし	利用の際には、書類を用いて説明を行っているが、至らない点があったようですので改善する。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0	記載なし	項目12の部分を踏まえると、理解できない部分や説明に不備が見受けられるので改善する。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	2	2	記載なし	現状、研修会の情報提供は出来ていないので、情報提供が出来るよう情報収集を行い提供できるように改善する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	5	1	0	0	記載なし	子供の状況を共有できるよう保護者様と少しでもお話しする時間を設けているが共通理解をより一層深める。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0	記載なし	お悩みやご相談に対し、一人の意見や助言は行っている。的確な助言が出来るよう知識を深める。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	1	0	0	記載なし	共感をもって頂いている事は大変うれしい事です。実質的な面に関して支援出来るよう善処していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	3	1	記載なし	保護者同士の交流の機会がもてていないので、保護者参加及び子供が全員参加出来るよう調整していきたいと考えている。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	1	記載なし	相談、申し入れについては迅速に対応できるよう個々でLINEを使用し適切に対応できている。一部のご家庭では連絡手段に違いがあるのでインフラ整備を行う。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1	0	0	記載なし	19の項目と同じくインフラ整備を行う。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1	0	1	写真を送っていただきたいと思います。	紙媒体やLINEを用いている。自己評価の結果を主にモニタリング時以外にも伝えていく必要がある。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	2	記載なし	入所時、書面にて説明、同意を得ているがどちらともいえないの回答がある為、書面の改善が必要。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	1	1	記載なし	各マニュアルを入所時、説明しているが分からないとの回答がある為、理解して頂けるように説明を再度行う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	2	記載なし	定期的に避難訓練を行っている。その他にも救命救護などの訓練も行っていくようにする。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	2	0	1	記載なし	安全の確保については日々徹底している。改善点が見受けられた場合は迅速に改善計画を行い実行する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	2	記載なし	事業所内での大きな怪我はないが、小さな怪我があった場合には保護者に連絡を入れるようにしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0	記載なし	より一層の安心感を構築していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	2	0	0		全ての子どもに楽しんで頂けるよう心掛けている。保護者にも分かるようWEB掲載等していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1	0	0		現状、出来る限りの事は支援していくようにしているが、より一層の支援が出来るように善処していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ロバの子ハウス		令和 7 年 8 月 31 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	8	0	定員数に対し、広いスペースである。	1日あたりの定員数がオーバーするようであれば、別施設を設立する必要がある。
	2	8	0	最低でも子供2名に対しスタッフが1名在中している。	もう少しスタッフの在籍数を増やす必要がある。
	3	8	0	子供にも理解できるようトイレなど表示している。	施設が3階の為、足の不自由な子供が通い辛いので新たな設備を導入する必要がある。
	4	8	0	毎日、清掃している。子供が怪我をしないよう、不要な物を置かないようにしている。	どの年齢層にも対応した空間を作る必要がある。
	5	8	0	不安定な状態になられた時は別階層の部屋を使用できる。	別階層であるため、スタッフが専属で必要になるため増員が必要である。
業務改善	6	8	0	毎月、スタッフを集めミーティングを行い子供の目標について話し合っている。	必ずしもスタッフが全員参加できる訳ではないので全員が出勤できる日程調整が必要である。
	7	8	0	モニタリング時、デイでの希望や改善点をお聞きし、より良い環境になるよう努めている。	家庭環境により、時間の融通が利かないことがあるので夜間でも対応できるように出来れば良い。
	8	8	0	業務改善の6の項目と同じくミーティング時、業務改善についても議題を上げ話し合い改善に努めている。	全ての意見が改善できる事が望ましいが、難しいのが現状。改善できるように善処していきたい。
	9	8	0	外部業者からのzoom面談を行い当デイサービスを第三者目線から評価をお聞きし指摘があれば改善する。	お声掛け頂いた全ての方々に対応することが難しいので、時間の余裕が持てるようにする。
	10	8	0	研修の機会があれば、参加できるよう人員の確保には心がけている。	研修日に子供の人数が明らかに不足しているときは見送りになってしまうので、増員が必要である。
適切な支援の提	11	8	0	フォーマットの項目に従い、適切に行っている。	最低限の事しか出来ていないので、書類提出の効率化を図る必要がある。
	12	8	0	客観的に見る点に関して、スタッフ各人からの意見を取り入れている。	計画作成に立ち会えないスタッフも居るので出来る限り参加できるようにする。
	13	8	0	管理者も含めスタッフ全員でミーティングを行い尽力している。	最善の利益を考慮した検討はしているが、それを達成できない事もあるので、検討を重ねて達成できる様にしたい。
	14	8	0	デイの全体LINEを使用し計画を共有している。	計画通りにはいかない事が多いが、出来る限りの支援はしていきたい。
	15	8	0	デイで作成した物で評価し確認している。	標準化されたツールの使用も視野にいれより良い方を取り入れる。
	16	8	0	放課後等デイサービスのガイドラインに沿って支援内容は設定している。	設立から支援内容の変更があるたびに更新はしているが、一から作り直した事はないので時間の都合がつくタイミングで精査する。
	17	8	0	ミーティングで立案し全体で行なっている。	他事業所の活動プログラムも視野に入れ新たな事も取り入れていきたい。
	18	8	0	様々な事に取り組むようにはしている。	同じことをする事があるので、新たなプログラムを発案する必要がある。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別でしかできない子供もおられるので出来る限り集団活動が出来るよう計画し支援している。	集団活動に関して全員で取り組みができる企画をする必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	始業時間やスタッフが異なるので前日に打ち合わせ、申し送りをしている。当日も変更等があればLINEで共有している。	スタッフ全員、出勤時間を統一できるように勤務時間の改定が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	適切な支援の提供の20と同じ。	適切な支援の提供の20と同じ。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	改善が必要と見受けられた場合には即日スタッフ全体で話し合い改善策を見出している。	現状問題は無いが記録の項目を増やす事も視野に入れる必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	スタッフ全体の意見を踏まえ見直しを行い作成している。	保護者の意見を尊重しつつ子供の意見も踏まえ最善の計画を立てる必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	自立支援の為、子供たちに分かりやすい創作活動を行なっている。	基本活動以外にも項目を増やし考えていく必要がある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	間違っただけで見受けられない限り、本人の意見、意向を尊重するようにしている。	難聴の子供も居られるので自己選択は筆談で行なっているが手話が使えぬスタッフも常駐する必要がある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	子供達全員とふれあい、スタッフ間の情報共有できているので基本的には責任者が参画している。	責任者以外も時間の都合をつけ参加できる体制を作る。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	医療、保育、教育に関しては傘下の企業や従事者が居るので支援や対応はできている。	より多くの関係機関と連携を取っていきたいとは思いますが対応しきれない。増員が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	メール及びLINEを使用しリアルタイムで行なっている。	今の所、トラブルが発生した事は無いが、想定した訓練の必要がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	8	何も問題がない限りは連絡をとる事はない。	就学前の保育園となると年月が経過しすぎてはいるが、必要性があるのであれば取る必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	0	今年度、障害福祉サービス事業所へ移行される子供が居るので情報提供はしたいと考えている。	初めての試みではあるので事業所と密な連携を取りたいと考えている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	児童発達支援センターの方からの情報提供や助言はいつでもスマートフォンを使用し頂けるようにしている。	固定電話からの転送も必要性があるので視野にいれている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	イベントの提案や機会はインターネットで日々閲覧するようにしている。	地域の行事ごとに積極的に参加をしていきたいが、企画に参加する時間がなく辞退している現状を改善する必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8	時間があれば参加したいと考えている。	参加出来るようにスタッフの増員が必要。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	通院されている子供の状況、デイサービスでの業況を共有し理解を深めている。	保護者の一方的な判断でデイでの活動を制限される事があるので、完全な共通理解が必要である。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	行政からの案内等、研修の機会があればお伝えしている。	当デイサービスでも研修の機会が設けられるように改善していく必要がある。
関係機関や保護者との連携	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	フォーマットの項目に従い、適切に行っている。	スタッフ誰もが説明を適切に行えるよう研修を行う必要がある。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	モニタリング時、デイでの希望や改善点をお聞きし、より良い環境になるよう努めている。送迎時もお話出来るよう心がけている。	モニタリング以外にも時間を設け短いスパンで確認する機会を作るよう善処する。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	適切な支援計画に基づき支援内容の説明を行い同意を得ている。	現状問題は無いが、必要性があれば改善する。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	御悩み事に関しては常日頃対応している。	お電話での助言は出来ているが保護者と直接面談できる時間の都合が合わない時があるので夜でも対応できる体制を考える。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	8	保護者や兄弟が交流できる機会は考えているが実現できていない。	課題点として参加できない保護者も居られ、一部の保護者が不参加となると子供が可哀そうですので良い方法を考える必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	子供同士での苦情はお互いが納得できるようにスタッフが間に入り対応している。	苦情が出ないように日々、周知徹底はする。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	行事予定に関しては月初めに紙媒体でお渡ししている。	連絡体制はSNSを通じ行っているが、行事予定についてもSNSを活用したいと考えているが見えていない家庭もあるので改善が必要。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報に関して同意書に署名して頂き、内容の通り遂行している。	データ管理している部分もあるので、より良いセキュリティ対策を検討していきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	相談支援員の方が間に入る等の配慮を行っている。	当デイサービスだけでも対応できるようにしていく必要がある。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	行なえていない。	地域住民参加型の企画を立てる必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	入所時にマニュアルの説明をし、周知できている。	新たな感染症が発生した際、迅速にマニュアル化できるよう医師との常日頃の連携が必要である。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	月、1回避難訓練を行っている。	日時が合わず参加出来なかった子供の為に専属で対応できるスタッフの増員が必要である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	入所時に確認しファイルし、日々確認している。	新たに、服薬したのものに対するの医療知識を高めていく必要がある。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	アレルギーに関してスタッフ全体で周知徹底している。	新たにアレルギーが発生する場合もあるので、保護者にも検査は定期的に行って頂く必要がある。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	毎月、安全面についてもミーティングを行い追加事項があれば追加している。	講習会があれば積極的に参加するようにする。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	安全面に関してマニュアルを基にし、ご家族様に周知して頂いている。	子供達にも口頭だけでなく、理解して頂くために分かりやすいマニュアルの作成をする必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ミーティング時に危険を感じた事など話し合い対策を取るようになっている。	予期せぬ事故も起こりうると考えられるので、事故防止のためより多くの予測を立てる必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止について知識を常日頃高め、適切な対応を行っている。	事業所内だけでなく各ご家庭でも虐待が起こらないよう家庭との連携を深める。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	入所時に保護者に説明し理解して頂いている。	身体拘束となる入所者の前例が当デイサービスでは無いので、事体に備えミーティングを行う必要がある。	